

あんよ

“あんよ”は歩き始める1歳のその一步一步を大切にしたい、そんなクラスです。お子さまはもちろん、ママたちにとっても日頃の育児の息抜きや相談ができる温かい場にしていきます。どうぞよろしくお願いたします！
“あんよ”は誠心相陽幼稚園（月曜日）・誠心第二幼稚園（金曜日）・誠心保育園（不定期）にて開催しています。時間内ならいつ来て、いつ帰ってもオッケーです。保育園で参加ご希望の方は、メールで予約をしてください。幼稚園は予約不要です。持ち物は普段のお出かけセットのみで大丈夫です。（室内は裸足 or くつ下）オムツ替えスペースはありますが、オムツはお持ち帰りをお願いします。入室の際は参加費(500円)をお納めの上、名札を受け取ってください。

スケジュール

相陽幼稚園 9月2日・30日

第二幼稚園 9月20日

誠心保育園 9月11日・25日

10:00~11:30

各施設1回目は敬老の日の製作をおこないます^^

0歳“ねんねちゃん”も大歓迎！

「子育て」が<孤育て>になりがちなので、ママもお子さんも、外に出て思い切りあそびませんか？ママたち、ぜひおしゃべりに来てください^^
子育て経験もある職員がいますので、日頃のご相談などもお気軽にどうぞ！
保育園のこと・幼稚園のことはもちろん、兄弟育児や離乳食、子どもの発達のことなど、な〜んでもOKです。ふらっとおしゃべりできる場、それが“あんよ”です^^

子育てコラム

これも立派な贈り物！
～“排泄コミュニケーション”って？～

現代の日本の赤ちゃんは、この世に生を受けた瞬間から、紙オムツを穿きつけて生活をしています。もしかしら、ママの肌よりも先に、オムツが触れた子もいるかたは切り離せないものです。それだけ紙オムツって、生活とは切つない関係性があるのです。ママたちならきっと、“トイレ”というワードを聞いたことがあるのではないのでしょうか。今つけているオムツを外し、パンツにするためのトレーニングのことです。そしてそれに対して好印象を持っている人は、おそろくないと思います。できればやりたくない、というのが正直なところだと思います。だ、やりたくなくとも当然です。ただそれってちょっともったいないことでもあるんです。知識があれば、オムツを脱がすしを楽にするには、“トイレ”という言葉の捨て方をし、そして、訓練が必要になる前に、<脱紙おむつだけ生活>（オムツを外）を取り入れてみましょう。赤ちゃんは本来、開放空間（オムツの外）での排泄を好みます。それを、お世話を大人がしているのです。ですから、0歳の頃から（生まれてすぐからでもOK!）開放空間に排泄する機会を与えてあげれば、本来の能力を失わずにキープできると思います。それはどうすれば？答えは簡単！オムツでも、お風呂でも、何ならお漏らしでも、1週間に1回でも、お風呂でも、オムツの外に排泄する機会を与えてあげてください。そうすれば、やがて時期が来ると、トイレなどの決まった場所での排泄に導きやすくなります。オムツの決り替えるときに「気持ち悪かったね。替えてスッキリしようね」と言ってしまうのは、日々のオムツ内排泄に慣れたお子さんは、もはやおむつが濡れた状態を“気持ち悪い”と感じないように、ある意味で脳が発達し、感覚を鈍らせています。人間の適応力ってすごいんです。でも、その鈍った感覚では、オムツを替えずに“不快である”ことを教えてあげると良いのです。そして、それが“不快である”ことを教えるという良い機会でもあります。間違っていい訳ではありません。出たことに気づいたら、その都度替えてあげてくださいね。その1回1回の親子の大切なコミュニケーションなんです！

誠心第二幼稚園

相模原市南区相模台 6-30-12
seishin.2@jcom.home.ne.jp

誠心相陽幼稚園

相模原市南区磯部 1648
seishin.soyo@gmail.com

誠心保育園

相模原市南区相模大野 3-12-7
seishinhoikuen@gmail.com

